

# 能登半島地震を踏まえた地盤隆起時の 可搬型設備による海水取水訓練について

原子力エネルギー協議会

2024年7月11日

- ✓ 新規制基準の導入にあたり、可搬型設備を用いた海水取水の手段を整備し、重大事故等時に使用可能な海水取水方法を確保している。
- ✓ 能登半島地震において、約 4 m の地盤隆起が発生したが、各発電所の新規制基準適合性審査においては、敷地近傍にある活断層が動いた場合でも、発電所敷地が大きく隆起することはなく、発電所の安全性に影響を与えないことは確認している。
- ✓ しかしながら、1F事故を教訓とし、想定外を作らないとの観点から、4 m の地盤隆起発生を仮定し、既設の海水取水箇所が利用できない場合において、代替取水箇所での海水取水が可能なことを机上検討するとともに、実動訓練にて有効性を確認することとした。
- ✓ 現時点での各社の対応状況について、次頁に示す。また、実動訓練の結果（関西電力：別添 4 - 3、東京電力HD：別添 4 - 4）を説明する。

# 各社の対応状況

プラント	北海道	東北			東京		中部	北陸
	泊1~3	東通1	女川2	女川3	柏崎刈羽1~5	柏崎刈羽6,7	浜岡3~5	志賀1,2
①机上検討	済※1	済※1	済	済※1	済※1	済	済※1	済※1
②実動訓練	未※2	未※2	未※3	未※2	未※2	済 (2024.6.1 2024.6.11)	未※2	未※2

プラント	関西			中国		四国	九州	
	美浜3	高浜1~4	大飯3,4	島根2	島根3※4	伊方3	玄海3,4	川内1,2
①机上検討	済	済	済	済	-	済	済	済
②実動訓練	済 (2024.6.28)	済 (2024.5.29)	済 (2024.5.28)	未※3	-	済 (2024.6.25)	済 (2024.6.25)	済 (2024.6.7)

プラント	日本原電		電源開発
	東海第二	敦賀2	大間※4
①机上検討	済	済※1	-
②実動訓練	未※3	未※2	-

※1:未適合炉プラントのため、使用済燃料貯蔵プール代替注水を検討済。原子炉の冷却対応については、今後検討。

※2:上記※1の検討状況、安全対策工事状況等を踏まえ、再稼働までに訓練実施予定。

※3:訓練要領の検討、安全対策工事状況等を踏まえ、再稼働までに訓練実施予定。

※4:建設中プラントのため、今後検討。